

## 「プレゼンテーション・パターン 創造を誘発する表現のヒント」

井庭 崇, 井庭研究室 著

単行本, 168ページ, 定価 1,400円 (税別)

(慶應義塾大学出版会, 2013年2月)

本学会では、学会誌や学術大会を通じて多くの研究成果が発表されています。このような行為は一般に「プレゼンテーション」と呼ばれ、自分の研究成果を相手に的確に「伝える」ために、発表者は創意工夫を凝らします。プレゼンテーションを上手に行うためのノウハウ本も数多く見かけます。これらの多くは「聴衆をいかに説得するか」に重きが置かれているように見受けられます。

一方、今回ご紹介する本は、従来のノウハウ本と少し違ってしています。様々な分野で「イノベーション」が求められている今日、プレゼンテーションは単なる「伝達」ではなく、そのこと自体が新しい「創造」であるべきではないかと筆者は述べています。すなわち、聞き手を単に説得させるだけでなく、聞き手にそれ自身の経験・知識をミックスさせ、新たな認識や発見を誘発して次なる行動を生み出し、未来を創造する - このような「創造性」のあるプレゼンテーションが求められていると。

本書は、創造的なプレゼンテーションを実現するための方策、言い換えるとプレゼンテーション・デザインの秘訣をパターン化してまとめたものです。パターン化の手法として、建築家・Christopher Alexanderが提唱したパターン・ランゲージの手法が応用されています。詳しくは本書に譲るとして、例えば「心に響くプレゼント」というパターン名があります。あるメッセージを伝える状況において「伝えたい相手を考えていないと自己満足で終わる」、そこで「誰に向けてのものかを意識し、その人が喜ぶ魅せ方を考える」、その結果「聞き手は共感を持って聞くことができるようになる。話し手にとっても話しやすい空気になり、メッセージがより届きやすくなる」という様に「問題」と「解決」が一体化した説明がなされます。

創造的な研究発表のヒント集として座右に置きたい一冊です。

(東海大学理学部 関根嘉香)

### <目次>

- プロローグ はじまりの物語
- プレゼンテーション・パターンの読み方
- プレゼンテーション・パターンの全体像
- CORE PATTERNS 創造的プレゼンテーションの本質
  - I 内容・表現に関するパターン
    - Column パターン・ランゲージという方法
  - II 魅せ方に関するパターン
    - Column プレゼンテーションを見るための「認識のメガネ」
  - III 振る舞いに関するパターン
    - Column 創造社会におけるプレゼンテーション
- EXTREME PATTERNS 創造的プレゼンテーションの究極
- エピローグ はじまりの物語、再び
- プレゼンテーション・パターン一覧

